

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位
対象学年組：第1学年 1組～ 3組
教科担当者：（1組：神） （2組：神） （3組：神） （組：） （組：） （組：）
使用教科書：（言語文化（大修館書店））

教科 国語 の目標：
【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や創造力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

Table with 3 columns: 【知識及び技能】, 【思考力、判断力、表現力等】, 【学びに向かう力、人間性等】. Each column contains a paragraph describing the learning objectives for that category.

Main table with columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 領域 (読書, 読), 評価規準, 知, 思, 態, 配当時数. It details the curriculum for three semesters (1st, 2nd, 3rd) with specific learning goals and assessment criteria.

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科

国語 科目 古典探究

教科: 国語 科目: 古典探究 単位数: 2 単位
対象学年組: 第2学年 1組~ 3組
教科担当者: (1組: 石鍋) (2組: 石鍋) (3組: 石鍋) (組:) (組:) (組:)
使用教科書: (精選 古典探究(大修館書店))

教科 国語 の目標:
【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や創造力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

Table with 3 columns: 【知識及び技能】, 【思考力、判断力、表現力等】, 【学びに向かう力、人間性等】. Each column contains a description of the learning goal.

Main table with columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 領域 (知識・技能, 思考力・判断力・表現力等), 評価規準, 知, 思, 態, 配当時間. It details the curriculum for each unit (A-F) across three semesters.

教科：国語 科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～ 3組

教科担当者：（1組：石鍋） （2組：石鍋） （3組：石鍋） （組： ） （組： ） （組： ）

使用教科書：（論理国語（大修館書店））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や創造力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言葉感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配 時 数		
		語 文	書 読							
<p>1 単元 文章と資料の関係を探え、日本社会について考えるときに、統計資料から分析したことを書く</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。【B(1)イ】 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。【B(1)カ】 ・「書くこと」において、統計資料を読み取り、自分の書く文章の主張を支えるために必要な情報を抽出している。【A(1)ア】 ・「書くこと」において、根拠となる情報の妥当性・信頼性に言及しつつ、それに支えられる主張を明確に書いている。【A(1)イ】 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。 <p>定期考査</p>	<p>・指導事項</p> <p>段落毎の要点のとらえ方について理解し、要点をまとめ、要約を口頭で発表する。</p> <p>・教材</p> <p>家族化するペット、コミュニティから見た日本</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> <p>Flipgrid を使用して提出</p>	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一方」「もちろん」「だから」といった接続する語の働きを理解し、文章の展開をとらえている。 ・根拠としての統計資料の情報と主張の情報を結びつける理由づけについて、作文の中で明確に示している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・統計によるグラフやインタビュー調査の事例と、筆者の主張との関係をとらえ、全体の構成を押さえている。 ・統計資料の主旨や内容を、本文全体の内容と照らし合わせながら理解している。 ・作文において、根拠とした統計資料の位置づけに触れながら、自分の主張を明示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・資料と本文の内容を関連づけながら、筆者の主張を意欲的に読み取ろうとしている。 	○	○	○	15		
									<p>2 単元 表現の工夫を考える</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。【(1)イ】 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【B(1)ア】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深めている。【B(1)イ】 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習課題に沿って、学説の引用に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 <p>定期考査</p>	○
<p>3 単元 科学について理解を深め、学分の意見を明確にしてその功罪について書く</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解している。【(1)エ】 ・本文の具体例と主張の関係、本文記述と表の対応関係について理解している。【(2)イ】 ・筆者の主張とその根拠をとらえている。【(2)ア】 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。【B(1)ア】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。【B(1)ウ】 ・「書くこと」において、筆者の主張と根拠を押さえた要約をしている。【A(1)ア】 ・「書くこと」において、自身の主張と、それに対する根拠を書き出している。【A(1)イ】 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に、ワークシートなどの学習課題に取り組み、意見文執筆に取り組みようとしている。 <p>定期考査</p>	<p>・指導事項</p> <p>論点を共有しながら話し合い、よりよい結論を出すために、考えを広げたり深めたりする。</p> <p>・教材</p> <p>結論を出すために話し合うガチガチの世界をゆるめる</p> <p>一人1台端末の活用 等</p> <p>端末を使った調べ学習、動画作成</p>	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小見出しごとのまとめ同士のつながり、論の展開についてとらえている。 ・本文の主張と根拠について、該当の箇所を指摘した上で、該当箇所を手組に表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・小見出しごとのまとめ同士のつながり、論の展開についてとらえている。 ・本文の主張と根拠について、該当の箇所を指摘した上で、該当箇所を手組に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・より多くの具体例等自分の根拠を支える事項を積極的に考えながら、意見文を書くこととしている。 	○	○	○	12		
									<p>4 単元 思考の枠組みをメタ認知する</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。【(1)エ】 ・対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる助けとしている。【(1)ウ】 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。【B(1)エ】 ・「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【B(1)ア】 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文と図版を関係つけて読むことをおとし、段落相互の関係に注意しながら、書き手の意図との関係において構成や展開を積極的にとらえ、今後の学習に生かそうとしている。 <p>定期考査</p>	○
<p>5 単元 自分たちの生きる世界を自分なりに理解し、レポートにまとめる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。【(1)エ】 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。【(2)イ】 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。【B(1)カ】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【B(1)ア】 ・「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などのさまざまな観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。【A(1)ア】 ・「書くこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。【A(1)カ】 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見直しをもって、全体の構成を意識しつつ、積極的に調べたことをレポートにまとめようとしている。 <p>定期考査</p>	<p>・指導事項</p> <p>引用をしながら、自身の考える「言葉と他者」との関係について根拠の明確なレポートを作成する。</p> <p>・教材</p> <p>世界は、いまー「多文化世界」の構築、グローバル化と文化、調べたことをレポートにまとめる</p> <p>一人1台端末の活用 等</p> <p>調べ学習</p>	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章に出てくる語句から、抽象的な概念をとらえ、理解している。 ・文章の内容からグローバル時代における文化の多様性について、自分なりの考えをもっている。 ・目的に応じて情報を収集し、分類することについて正しく理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代のグローバル化の特徴と、文化や国家との関係について十分に理解している。 ・文章の構成や展開について、自分の主張が正しく伝わるように書かれているか、吟味して、文章を整えることが十分にできている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見直しをもって、全体の構成を意識しつつ、積極的に調べたことをレポートにまとめようとしている。さらに今回学んだことを他の単元の学習活動に活かそうとしている。 	○	○	○	14		
									○	○
									合計	40

令和 5 年度 年間授業計画

東京都立大泉高等学校 全日制課程

教科・科目 講座名	国語・現代文B	単位数	2 単位	必修
対象学年・組	3年1組～3年5組			
担当教員	三好健介 石鍋雄大 辻井伸江			
教科書等	「精選 現代文B 改訂版」(筑摩書房)等 「現代文長文記述問題集3」(いいずな書店)			

学習の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を身につけるとともに、直近の目標である大学入試を突破できるだけの読解力と記述力を習得する。
-------	--

学期	単元(学習内容)	時間	学習上の留意点
1学期	① 大学入試に向けた評論の読解	24	<ul style="list-style-type: none"> ・標準レベルのセンター試験過去問題を実際に解き、今後の学習に向けて各自の指針を立てる。 ・近年の入試問題から良問を選び、実戦的な演習を行いながら、大学入試標準レベルの入試問題に対応できる実践的な読解力と記述力を養成する。
	② 大学入試に向けた小説の読解		
	③ 問題集による問題演習		
2学期	① 大学入試に向けた評論の読解	28	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の入試問題から良問を選び、実戦的な演習を行いながら、難関国立・私立大学の要求に応える読解力と答案作成能力を習得する。
	② 大学入試に向けた小説の読解		
	③ 問題集による共通テスト対策のための問題演習		
3学期	① 共通テスト対策および個別試験対策問題演習		個々の生徒の志望校に応じた添削指導を行う。
	② 個別受験指導		

評価の観点・方法	考查点(中間考查・期末考查)と平常点(授業態度・提出物・小テスト)を総合して評価する。
----------	---

令和 5 年度 年間授業計画

東京都立大泉高等学校 全日制課程

教科・科目 講座名	国語・現代文演習（現代文演習①②）	単位数	2 単位	選択
対象学年・組	3年			
担当教員	玉腰 朱里			
教科書等	「精選 現代文B 改訂版」(筑摩書房) アップリフト「現代文」(入試標準)会			

学習の目標	近代以降の様々な文章を、段落構造を意識しながら正確に理解し、内容や心情についての的確に表現できる力を養う。
-------	---

学期	単元(学習内容)	時間	学習上の留意点
1学期	① 評論読解演習	24	<ul style="list-style-type: none"> ・段落構造やキーワード、言語指標等を意識して評論を読む読解姿勢を身につける。 ・複数の同義表現の中から解答に採択すべきよりよい表現を選択する力を養う。 ・漢字や語彙の基礎力の充実を図る。
	高階秀嗣「日本の美・西欧の美」		
	加藤典洋「ポツカリあいた心の穴を少しずつ埋めてゆくんだ」		
	今井むつみ「学びとは何か」		
	伊藤 整「青春について」		
	村上陽一郎「文明のなかの科学」		
2学期	① 小説読解練習	28	<ul style="list-style-type: none"> ・表現や場面転換に留意しながら、心情変化を捉える読解姿勢を身につける。 ・要素を的確に捉えながら明確に心情説明ができる力を養う。 ・漢字や語彙の基礎力の充実を図る。
	志賀直哉「赤西蠣太」		
	村山由佳「星々の舟」		
	遠藤周作「深い河」		
	② 随筆読解練習		
	竹西寛子「ものに逢える日」		
3学期	① 個別受験指導		個々の生徒の志望校に応じた添削指導を行う。

評価の観点・方法	考查点(中間考查・期末考查)と平常点(授業態度・提出物・小テスト)を総合して評価する。
----------	---

令和 5 年度 年間授業計画

東京都立大泉高等学校 全日制課程

教科・科目 講座名	国語・古典演習	単位数	2 単位	選択
対象学年・組	3年・文系選択(3講座)			
担当教員	辻井 伸江			
教科書等	「古典B 古文編」「古典B 漢文編」(筑摩書房)「古文ウィニングクリア3」「漢文ウィニングクリア3」(尚文出版)等			

学習の目標	(1) 文章を読み解くために必要となる基礎的な事項の定着をはかり、応用ができるようになる。 (2) 長文を実践的に読み、解釈し、理解できるようになる。
-------	--

学期	単元(学習内容)	時間	学習上の留意点
1学期	① 「源氏物語」萩のうは露 古文文法等の確認および読解	24	様々なジャンルの文章をの読解を通して、文法や句法を体系的に復習すると同時に、基礎知識の定着を図る。 問題集による演習を行うことによって、初見の文章を読み、内容を把握していく力を養う。
	② 評論(歌論・物語論等) 「無名抄」「無名草子」「正徹物語」等		
	③ 「漢文ウィニングクリア」の演習		
2学期	④ 大学入試過去問題演習 共通テスト・共通一次過去問題の解法	28	共通テストや大学の過去問、また対策用の問題集を用いて、問題解法の力を養う。
	⑤ 私立大学入試過去問題の解法		
3学期	① 共通テスト対策および個別試験対策問題演習		個々の生徒の志望校に応じた添削指導を行う。
	② 個別受験指導		

評価の観点・方法	考查点(中間考查・期末考查)と平常点(授業態度・提出物・小テスト)を総合して評価する。
----------	---

令和 5 年度 年間授業計画

東京都立大泉高等学校 全日制課程

教科・科目 講座名	国語・古文演習	単位数	2 単位	選択
対象学年・組	3年・選択2講座			
担当教員	神 尚子			
教科書等	「改訂版 古典B 古文編」(筑摩書房)、「錬成古文」(尚文出版)			

学習の目標	(1) 基礎的な事項の定着と体系化を図り、応用ができるようになる。 (2) 実践的な問題に取り組み、確実な解答の作成ができるようになる。
-------	---

学期	単元(学習内容)	時間	学習上の留意点
1学期	① 用言の復習 「十訓抄」「発心集」「方丈記」	24	多様なジャンルの読解演習を通して、既習の文法事項を復習し、基礎知識の定着と体系化を図る。
	② 助動詞の復習 「宇治拾遺物語」「今昔物語」「平家物語」「落窪物語」 「紫式部日記」「枕草子」「玉勝間」		
	③ 和歌の修辞 「土佐日記」		
	④ 大学入試過去問演習		
2学期	① 助詞の復習 「堤中納言物語」「無名抄」「更級日記」	28	多様なジャンルの読解演習を通して、既習の文法事項を復習し、基礎知識の定着と体系化を図り、文脈解釈や表現等、実践的な問題への対応力をつける。
	② 敬語・和歌の習熟 「古今著聞集」「枕荘子」		
	③ 識別練習 「俊頼髓脳」「大鏡」「源氏物語」「栄花物語」 「春秋左史伝」「晏史春秋」		
	④ 大学入試過去問演習		
3学期	① 共通テスト対策および個別試験対策問題演習		個々の生徒の志望校に応じた添削指導を行う。
	② 個別受験指導		

評価の観点・方法	考查点(中間考查・期末考查)と平常点(授業態度・提出物・小テスト)を総合して評価する。
----------	---

令和 5 年度 年間授業計画

東京都立大泉高等学校 全日制課程

教科・科目 講座名	国語・発展現代文演習	単位数	2 単位	選択
対象学年・組	3学年自由選択(2講座)			
担当教員				
教科書等	『アップリフト現代文入試標準』(Z会)等			

学習の目標	幅広い分野の文章について読解力と記述力を養い、入試現代文に対応できる力をつける。
-------	--

学 期	単元(学習内容)	時間	学習上の留意点
1学期	① 「日本語が亡びるとき」	24	評論文を読み、文章構造に即した正確な読解力と、問いに的確に応じた記述力を養う。
	② 「日本の美、西欧の美」		
	③ 「生命の政治学」		
	④ 「学びとは何か」		
	⑤ 「うわさとは何か」		
	⑥ 「青春について」		
	⑦ 「文明のなかの科学」		
	⑧ 「風景学・実践編」		
	⑨ 「星々の舟」		
2学期	⑩ 「無口な友人」	28	評論文に加え、随筆、小説を正確に読み取る読解力と、問いに対応した記述力を養い、大学入試に対応できる実践的な力を身につける。
	⑪ 「波打ち際に生きる」		
	⑫ 「さまよう死生観 宗教の力」		
	⑬ 「恋愛論」		
	⑭ 「メタファーと科学的発見」		
	⑮ 過去問演習		
	⑯ 過去問演習		
	⑰ 過去問演習		
3学期	⑱ 個別指導		記述問題、個別指導。

評価の観点・ 方法	・定期考査、提出物等を総合的に判断する。
--------------	----------------------

令和 5 年度 年間授業計画

東京都立大泉高等学校 全日制課程

教科・科目 講座名	国語・発展古典演習	単位数	2 単位	選択
対象学年・組	3年・自由選択(2講座)			
担当教員	辻井 伸江			
教科書等	「古典B 古文編」「古典B 漢文編」(筑摩書房)、「アップリフト古文入試標準」(Z会)			

学習の目標	(1) 文章を読み解くために必要となる基礎的な事項の定着をはかり、応用ができるようになる。 (2) 長文を実践的に読み、解釈し、理解できるようになる。
-------	--

学期	単元(学習内容)	時間	学習上の留意点
1学期	① 問題演習(「アップリフト古文 入試標準」)	24	幅広いジャンルに渡った基本的な問題の解答と実践問題の演習を行い、文法や句法を体系的に復習すると同時に、基礎知識の定着を図る。
	② 古文単語テスト「古文単語330」(いいずな書店)		
2学期	① 大学入試問題の演習 国公立大学入試過去問題・難関私立大学入試過去問題	28	難関大学の過去問を含め、幅広いジャンルに渡った文章を読み、古典の知識を活用しながら文脈の中で正しく解釈する力や、思考力や判断力を必要とする問題への対応力を身につける。また、記述問題や複数の文章を組み合わせた問題への対応力を強化する。
	② 古文単語テスト「古文単語330」(いいずな書店)		
3学期	① 大学入試問題の演習 国公立大学入試過去問題・難関私立大学入試過去問題		個々の生徒の志望校に応じた添削指導を行う。
	② 個別指導		

評価の観点・方法	考查点(中間考查・期末考查)と平常点(授業態度・提出物・小テスト)を総合して評価する。
----------	---

令和 5 年度 年間授業計画

東京都立大泉高等学校 全日制課程

教科・科目 講座名	国語・理系古典演習	単位数	1 単位	選択
対象学年・組	3年・選択1講座			
担当教員	山村亜希			
教科書等	「古典(古文漢文)ウィニングクリア3」(尚文出版)			

学習の目標	(1) 文章を読み解くために必要となる基礎的な事項の定着をはかり、応用ができるようになる。 (2) 長文を実践的に読み、解釈し、理解できるようになる。
-------	--

学期	単元(学習内容)	時間	学習上の留意点
1学期	① 古き教え 「花月草子」「十訓抄」「毎月抄」	12	幅広いジャンルに渡った基本的な問題の解答と実践問題を通して、文法や句法を体系的に復習すると同時に、基礎知識の定着を図る。 40字程度の記述問題や、共通テスト対策として複数の文章を組み合わせて読む問題にも取り組む。
	② 人物伝を読む 「蒙求」「世説新語」		
2学期	④ 歴史を読む 「古今著聞集」「大鏡」「栄花物語」	14	難関大学の過去問を含め、幅広いジャンルに渡った文章を読み、古典の知識を活用しながら文脈の中で正しく解釈する力や、思考力や判断力を必要とする問題への対応力を身につける。また、記述問題や複数の文章を組み合わせた問題への対応力を強化する。
	⑤ 思いを知る 「蜻蛉日記」「和泉式部日記」		
	⑥ 政治に必要なもの 「十八史略」「荀子」「新序」		
3学期	⑦ 大学入試過去問演習		個々の生徒の志望校に応じた添削指導を行う。
	① 共通テスト対策および個別試験対策問題演習 ② 個別受験指導		

評価の観点・方法	平常点(授業態度・提出物・小テスト)を総合して評価する。
----------	------------------------------